

ひとりー役活動の流れ

申請

事務局へ「芦屋市ひとりー役ワーカー登録申込書」を提出
ひとりー役ワーカーの登録は、18歳以上で活動ができる方が対象です。
※登録申込は年度途中に関わらず、いつでも申し込むことができます。



登録

事務局から活動説明
兵庫県ボランティア・市民活動災害共済（ボランティア活動保険）への加入
（自己負担500円）
「芦屋市ひとりー役ワーカー活動手帳」の交付



- 登録施設での活動
一覧表の中から活動先を探す
初めて希望する活動は事務局に申し出、2回目以降は直接登録施設へ申し出
○高齢者の居宅での活動（居宅支援活動）
事務局からの依頼を受けて活動



活動

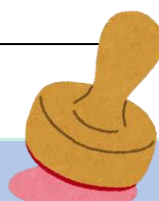
- ひとりー役活動を行いスタンプの押印をもらう（1日につき2個まで）
○登録施設における30分以上1時間30分未満のひとりー役活動 1個
○登録施設における1時間30分以上のひとりー役活動 2個
○高齢者の居宅（在宅支援活動）での1回のひとりー役活動 1個



交換

スタンプの個数に応じてポイントを換金（上限5,000円）
ポイント換金は年1回（活動年度の3月1日から受付できます。）

注意



- ※専門的な技術を要する活動、衛生管理上の問題が生じる活動、危険を伴うと判断する活動はありません。
※活動のマッチングに時間を要する場合や、条件に合うものが見つからないことがあります。
※活動内容についてご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

事務局 芦屋市社会福祉協議会

〒659-0051 芦屋市呉川町14-9
芦屋市保健福祉センター2階
TEL: 0797(32)7525 FAX: 0797(32)7538
Mail: hitori@ashiya-shakyo.com
受付時間: 土・日・祝日を除く平日 午前9時～午後5時

2024年9月発行

地域で支え合う！

ひとやく

ひとりー役活動

ひとりー役活動とは？

デイサービスや保育所などの登録施設や高齢者の居宅等といった活動場所で、様々なボランティア活動を通じて、それぞれが役割をもって活躍していく活動です。



花のお手入れ



髪乾燥



ゴミ出し



レクリエーション補助

ひとり役ワーカー※の活動の一部をご紹介します！

※ひとり役活動を行う人をひとり役ワーカーといいます。

登録施設活動

エルホーム芦屋

ワーカーの声

職員やご利用の方とも顔なじみになり、いろんなお話をしながら、楽しく活動しています。



施設



『レクリエーションの補助』



『洗濯物たたみ』

ワーカーの声

ワーカーは、ボランティア保険に加入しているので、安心して活動できます。花が好きな人、人が好きな人にぴったりの活動です。



『花壇の手入れ』



蓮美幼児学園芦屋川ナーサリー

施設

ワーカーの声

図書館で何冊か絵本を選んで保育園で子どもたちに読んでいます。小さな子どもたちはとてもかわいくて、癒されています。



『絵本の読み聞かせ』

社会福祉協議会（障がい児日中一時支援事業）

施設

ワーカーの声

障がいのある若い方たちとスポーツをしています。皆さんの楽しそうな笑顔を見るとこちらも元気をもらえます。



『遊び・運動の相手』



居宅

『お話し相手』

足が悪いため外出がしづらく、お一人で過ごすことが多いAさんのお話し相手が活動内容です。活動は週1回。ワーカーが訪ねる日のお気持ちをうかがうと、「そりゃ、うれしいですよ。」と破顔一笑のAさん。支援者の方と3人で、最近のご様子や思い出話、好物の話など、いろいろな話に花が咲く楽しいひとときです。



ワーカーの声

自転車で訪問しているので、雨の日はおやすみですが、いつも楽しくお話ししています。気が合うのかな～。

居宅

『飼い犬のお世話』



Bさんが口を開けたところに、歯のスプレーをシュッと吹きかけます。

Bさんは片麻痺がありますが、介護保険サービスでは飼い犬のことは頼めず、歯のお手入れができないことに困っていました。最初は歯のお手入れだけの活動でしたが、何度か訪問するうちに仲良くなり、今はお散歩にも行っています。「来てくれて本当に助かるよ」と、うれしそうにお話してくださいました。

ワーカーの声

週2回ワーカー2人で一緒に活動しています。犬もすっかりなついて、私たちにとっても癒しの時間になっています。



『お話し相手』

一人での外出が難しくなってしまったCさんのお話し相手として、月2回訪問しています。時間は毎回60分。多趣味で、お話し上手なCさんとの時間は、あっという間に過ぎていきます。Cさんから、「いい人に出会えてうれしいです。いつも楽しみにしています。」と、うれしいお声をいただいています！

ワーカーの声

同年代なので、昔の芦屋や懐かしい映画、音楽の話など、いつも話題が尽きません。



居宅

居宅

ワーカーの声

自分の家のゴミ出しのついでに活動しているので、負担に感じることはありません。お身体が悪く、ご自身ではゴミ出しができない方なので、お役に立てるのがうれしいです。



受け取ったゴミ袋を、ゴミステーションまで運びます。

『ゴミ出しのお手伝い』

活動先はおひとり暮らし世帯です。病気で足腰が悪く自宅の前に階段があるため、ゴミ出しに困っておられました。週1回、燃えるゴミの日収集時間に間に合うようにゴミ出しのお手伝いをしています。